

「機械駐車設備／導入事例」……
21世紀の都市行政を担う拠点施設

日本都市センター会館

全国671市の活動・
交流・情報交換の拠点

近くに皇居の森を望む、緑の多い東京・平河町に社団法人全国市有物件災害共済会の設立50周年記念事業の一環として、日本都市センター会館が、去る6月4日にグランドオープンしました。

同会館は、同共済会の会員である全国671市の東京における市政活動の拠点として、さらには、一般の方々にも利用していただける公共施設としての性格も同時に兼ね備えています。

会館には327室の宿泊施設をはじめ、大小25室の会議施設、700人規模のコンベンションが可能な会議ホール、各市の東京事務所、本部事務室を中心とするオフィス、さらには防災専門図書館やこれらを補完する飲食施設やトレーニング施設なども併設された、多目的な複合施設となっています。

また21世紀の情報化・国際化をにらんで、今後の情報通信の高速化や大容量化にも対応できる光ケーブルの配線が容易にできるよう、各事務室に配線ルートを確保したほか、携帯電話・PHSは館内どこからでも利用でき、また客室ではイン

ターネットとの接続や、FAXの送受信などが可能な回線が用意されています。

計画段階で総合設計制度の適用を受け、建物の敷地の周囲には十分な公開空地が設けられ、建物は中央にコンパクトに配置され、緑の多い環境を形作っています。

日本都市センター会館建設計画のコンセプトのひとつに「地域社会への貢献」がありました。特に緑豊かな環境づくりのために、公開空地のひとつである建物北側の敷地内を貫通する通路際には散策路やせせらぎを設けて、地域の人々が親しみやすい空間づくりを目指しました。

防災図書館やトレーニングルーム、ウエルネス8などは地域に開かれた施設となっています。また、バリアフリーに関しては建物内外の段差をなくしたうえに、従来の車椅子対応のトイレのほかに、高齢者や子供連れが利用しやすい多目的トイレを設置しました。

このほかにも、省エネルギーの観点から、太陽光自動追尾システムによる会議室ゾーン中央ロビーの自然採光や、風力発電設備による会議室ゾーン2室のTV用電力をまかなうシステムなどが採用され、利用者に自然エネルギーの有効性を理解していただくという試みもなされています。

建物の設計上のコンセプトは、長期的に誰もが快適かつ安全に利用できる、確

建物の地下空間を有効
活用する地下式駐車設備

東京の都心部であり、各種行政の全国の中心が数多く存在する平河町に位置し、全国671市の交流・活動拠点となるだけでなく、各種団体による会合やセミナー、それに国際的なコンベンションの会場として使用される情報センターとしての意味あいから、車によるアクセスの高い利用頻度が事前に予想されました。駐車場設備にも効率のよい入出庫と、できるだけ数多くの収容台数が求められます。

そこで、限られたスペースであっても、最大限の駐車台数を確保し、効率のよい入出庫を可能にするレベルパーク2基によるそれぞれ44台、52台の収容をメインに、二・多段方式のAパークⅢ等と合わせて合計110台収容の駐車場を完備しました。

水平循環方式であるレベルパークは、建物の地下空間を最大限に有効活用できる、日精の地下式駐車設備の代表的な機

種です。様々な地下のレイアウトに柔軟に対応できる豊富なバリエーションで、業界トップシェアを誇る主力製品でもあります。

日本都市センター会館では、このレベルパークを2基設置することによって、多台数の車を滞留させることなく効率的に収容することができ、車の出入りが多い公共施設の駐車場としては、最適な設備となっています。

建築概要・建築規模

建築主：社団法人 全国市有物件災害共済会
構造規模：地下2階、地上22階、塔屋1階
建築面積：2,928.10㎡
延床面積：6,367.87㎡
設計・監理：株式会社 日建設
施工：大成・フジタ・鴻池特定建設工事
共同企業体

撮影：篠澤建築写真事務所



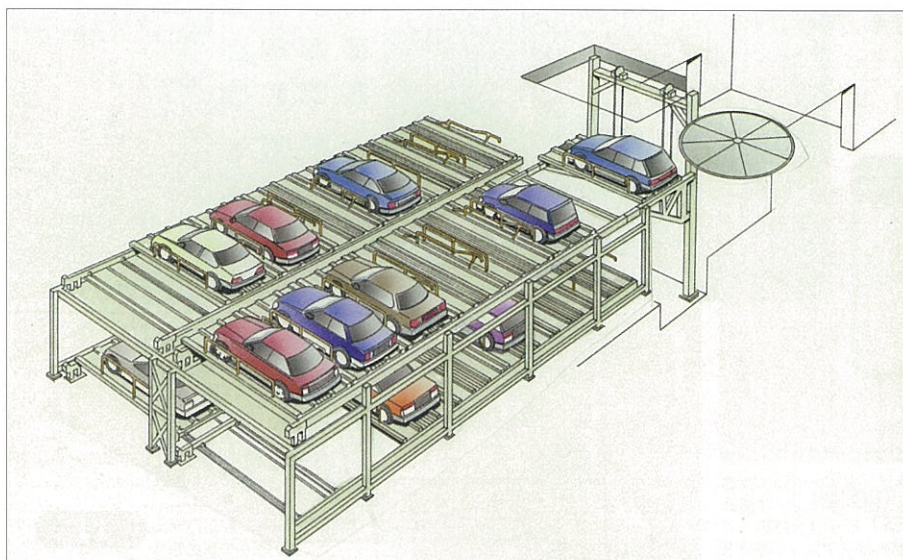
日本都市センター会館のエントランスホールは、全国671市の交流の場を象徴する空間として、ゆったりとしたスペースが確保されています。



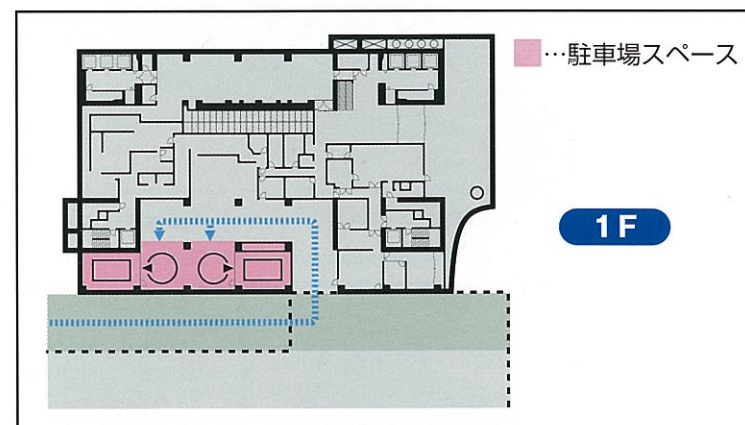
3階のコスモスホール（コンベンションホール）は、4カ国語同時通訳設備を備え本格的な国際会議にも対応できるようになっています。

水平循環方式 レベルパーク

日精が独自の技術力で開発・誕生させた水平循環方式の代表作がレベルパークです。建物の地下空間の平面効率を最大限に有効活用でき、地下式駐車設備の代名詞にもなっています。レベルパークの基本ユニットは30台・40台収容となっており、側部乗入型、ターンテーブル内蔵型など様々な地下レイアウトに対応する豊富なバリエーションが用意されています。まさに業界トップシェアの主力製品です。



ターンテーブル内蔵型は、前進入庫・前進出庫が可能なドライブにやさしい設計です。



駐車設備概要
駐車設備：ニッセイ・レベルパーク
機種：水平循環方式
型式：NLP・LS2C-22FD、NLP・LS2F-26FD
収容台数：44台、52台

駐車設備：ニッセイ・Aパーク
機種：二・多段方式
型式：APⅢ・LSR-11
収容台数：11台

「歴史と未来との融合」「出会いと交流の軸」とのコンセプトのもと、建物の周辺には緑豊かな公開空地の確保を図りました。

